

デジタル時代のチャンスと才能を繋ぐ

ジェームズ・マニカ、スーザン・ルンド、ケルシー・ロビンソン、ジョン・ヴァレンティノ、
リチャード・ドブス(2015 年 6 月 1 日)

オンライン人材プラットフォームにより、人と適切な仕事のチャンスとの結び付きが増加している。2025 年までに、このプラットフォームは世界の GDP を 2.7 兆ドル押し上げ、世界の労働市場における永続的な問題の多くを改善し始めるだろう。

世界中の労働市場は世界経済の急速な変化に追いつけないまま、その非効率性が大きな打撃を与えてきた。テクノロジーからヘルスケアに至る業界が欠員を補充するのに躍起になっているにも拘わらず、何 100 万人もの人々が仕事を見つけられないでいる。仕事をしている人の多くは、役不足、或いは自分の能力が十分に活用されていないと感じている。これらの問題は結果として、世界経済にとってコスト的に無駄な潜在力となる。更に重要なことに、これらの問題は、何億人もの人々が失業、不完全雇用、賃金の停滞、落胆に耐えていることの表れである。

オンライン人材プラットフォームは、個人と仕事のチャンスをより効果的に結び付けることにより、多くの労働市場の機能不全を軽減することができる。このようなプラットフォームには、Monster.com や LinkedIn といった、従来の雇用主からの求人情報と一緒に個人の履歴書を集約するウェブサイトだけでなく、Uber や Upwork といった急速に成長している新しい"ギグエコノミー"のデジタル市場が含まれる。世界中の何億人もの人々がすでにこれらのサービスを利用している一方で、それらの機能と可能性はまだまだ進化を続けている。しかし、譬えそういったサービスが世界の労働力のほんの一部にしか及んでいなくても、経済と個人に大きな利益を生むことができると私たちは信じている。

By 2025, online talent platforms could boost global GDP by \$2.7 trillion.

Share of GDP increase
by source, \$ trillion

\$2.7 trillion¹

Improved productivity	0.34	Better matches
	0.29	Reduced informality
Greater employment, 25 million additional FTEs ²	0.70	Faster matches
	0.11	New matches
Higher labor-force participation, 47 million additional FTEs	1.27	Work for currently inactive people and increased hours for current part-timers

¹Figures do not sum to total, because of rounding.

²Full-time equivalent.

McKinsey&Company

マッキンゼー・グローバル研究所の新しいレポート「機能する労働市場:デジタル時代の才能とチャンスを繋ぐ」で、私たちは、現在の雇用状況と、これらのデジタル・プラットフォームがもたらす影響を検証する。

- 世界の国々では、労働年齢人口の 30～45%が失業しているか、労働力を持て余しているか、パート・タイムでしか働いていない。ブラジル、中国、ドイツ、インド、日本、英国、米国で合計すると、その人数は 8 億 5,000 万人になる。
- オンライン人材プラットフォームの規模が成長するにつれて、それらはより迅速で、より効果的な情報センターとなり、新しい参加者を引き込みながら、求人市場に新しい推進力と透明性を注入することができる。我々の行った供給サイドの分析によると、オンライン人材プラットフォームは 2025 年までに世界の GDP を 2.7 兆ドル、つまり 2.0% 押し上げ、フルタイムと同じポジションの雇用を 7,200 万人まで増加させる可能性がある。
- 2025 年までに最大 5 億 4,000 万人がオンライン人材プラットフォームの恩恵を受ける可能性がある。仕事がないかパート・タイムで雇用されている 2 億人がフリーランス・プラットフォームを通じてもっと多くの労働時間を獲得できる一方で、2 億 3,000 万人もの人々が新しい仕事をもっと早く見つけて、失業期間を短縮できるだろう。5,000 万人が非正規雇用から正規雇用にシフトできる一方で、6,000 万人もの人々が、自分のスキルや好みにより近い仕事を見つけることができるだろう。
- いつまでも失業率が高く、参加率が低い国(ギリシャ、スペイン、南アフリカなど)が最も恩恵を受ける可能性がある。先進国の中で米国は、自国の求人市場が他と比べて流動

的であるため大幅な利益を得る立場にある。対照的に、中国と日本では、低い失業率と、採用を制限する別の障壁がある結果、その可能性は低くなっている。

- ・ オンライン人材プラットフォームは、スキルに対する需要の透明性を高め、若者がもっと良質の教育を選択できるようにする。その結果、より効果的に高等教育にお金を遣うことで、ブラジル、中国、ドイツ、インド、日本、英国、米国で私たちが見出した 890 億ドルの不適切な配分の一部を削減することができるだろう。
- ・ 企業は、候補者を特定して採用するためだけでなく、仕事を始めたら候補者の意欲を高め、彼らの生産性を向上させるために、オンライン人材プラットフォームを利用することができる。これらのプラットフォームを選択することで、企業の生産性が 9%まで増加し、採用コストと人材コストがたいていの場合 7%も削減されるだろう、と私たちは見積もっている。

この可能性を手に入れるには、拡張されたブロードバンド・アクセス、更新された労働市場の規制、労働者に福利厚生を提供するためのシステム、より明確なデータ所有権とプライバシー・ルールが必要になるだろう。また、これらのプラットフォームが収集するデータを利用して、特殊なスキルや職業 — 特別な教育機関やプログラムに関連するキャリアの成果は言うまでもない — に対する需要に洞察をもたらすチャンスがたくさんある。より正確な予測モデルを行えば、個々人が、教育、トレーニング、キャリア・パスについてより多くの情報を得たうえで決断を下すのに役立つだろう。

近年、世界中の政府が雇用の増加に苦勞している。オンライン人材プラットフォームは、求人市場に対するより確実な透明性とダイナミズムの注入に期待が持てる。人々がもっと効率的に仕事のチャンスと繋がるようになれば、今後、更に大きな経済波及効果が現れる可能性がある。これらのメリットを手に入れるには、テクノロジーとともに、規制の枠組み、企業慣行、個人のマインドセットを変えなければならないだろう。適切な投資、思慮深いアプローチ、民間部門からの継続的なイノベーションがあれば、世界は、機能する労働市場の目標に近づくことができるだろう。